



「この国の生き方を決める力は私たち国民だけにある」の



6.13ストップ安倍政権 (東京の臨海広域防災公園にて)

憲法のこころを 行動につなげて

今から70年前の1945年8月15日、日本の軍国主義による15年にわたる侵略戦争は、アジアで2000万人以上、国内で300万人以上の犠牲者を生みだし敗戦を迎えました。安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから(広島・原爆死没者慰霊碑文)「日本国民は、国家の名譽にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ(日本国憲法前文)」。多くの犠牲の上に立ち、日本に暮らす一人ひとりが70年にわたって守りぬいてきたのが「日本国憲法」です。

私たち耳原病院グループは、民医連綱領に掲げる「何よりも人間を大切にすること」という価値観に基づき、友の会や関係団体と力を合わせてさまざまな活動をすすめています。一人ひとりの患者さんや利用者さんに寄り添う医療介護従事者にとつて、何千万人も命が失われる「戦争への道」はもちろん、いのち・暮らし・人権がないがしろにされるような社会を決して許すことができないからです。

〈最近の取り組みから〉

維新による都構想ストップに大きく貢献

5月17日投票の大阪市の廃止・解体の是非を問う住民投票は、「反対」が「賛成」を上回り大阪市の存続が決まりました。今回の住民投票は大阪府全体の未来がかかった投票であると位置づけ、耳原病院グループからも延べ200人以上が宣伝・対話行動に参加し「反対」勝利に大きく貢献しました。生活保護申請時の親族調査、市民を対象にした思想調査、社会保障切り捨てなどを推し進めながら「府と市の二重行政さえ解消されれば大阪の未来が見える」と根柢なき夢「都構想」をふりまいてきた維新政治にとつて、2013年の堺市長選挙での「都構想ノー」の審判に続き今回の住民投票が決定打となりました。

日本に基地はいらない 平和への願いを行動に

沖縄・辺野古への基地建設強行は、日本政府が日本国民とアメリカのどちらを向いて政治をすすめているかの象徴の一つです。翁長沖縄県知事がアメリカとの直接対話など県民の意思に沿った県政をすすめています。民医連・同仁会では、5月末から訪問・支援活動に取り組み、現地での経験や思いを仲間にも伝え共有する事で多くの気づきが生まれており、秋以降も継続します。

平和行進(7月3日堺コース)、堺平和のための戦争展(7月25〜26日)、8月の広島・長崎での原水禁世界大会と夏は平和への思い

辺野古支援活動に参加の青年職員の声

●今回初めて辺野古支援活動に参加させていただきました。新聞やTVなどを見て沖縄の現状を理解していたつもりでしたが、沖縄で起こっている事のほんの少ししか伝えられていないと思知らされました。

いつ戦闘機が墜落してくるのか分からない危険と隣り合わせの生活。自分達が生まれ育った沖縄の自然を守る為に毎日抗議活動。

この現状を見て私は何故もっと早くこの問題に目を向けなかったのかと痛感しました。これから少しでも沖縄の人たちの力になれるように積極的に支援活動などに

を行動で示す時期でもありません。日本を再び「戦前」にしないためにも一人ひとりが行動を起こしましょう。

憲法を守り、危険な「戦争法案」に反対しよう

私たちが積み重ねてきた「戦後」に終止符を打つ「戦争法案」を安倍内閣が強行しようとしています。どんな侵略戦争も「国を守るため」という大義名分で行われてきた事を私たちは忘れません。

戦争への道は人権が尊重されない道でもあります。ひとたび戦争がはじまれば「戦争に役に立つかどうか」が人を判断する基準になります。障がいを持つ人、介護が必要な高齢者はいったいどうなるのでしょうか。

2015年度に取り組み「憲法を活かす大運動」は、日本国憲法の価値を学び、自覚的に憲法を活かす人と組織になろうという呼びかけです。耳原病院グループあけて、全力で平和と人権を守る立場で「憲法守れ」の声をあげましょう。

参加してきたいと思います。
(耳原歯科診療所 歯科衛生士 中林 由佳)

●米軍基地・普天間基地など、いつ戦争がおきてもおかしくない恐怖の中で生活されている沖縄の人々がいること。また、私たちの税金が医療・福祉ではなく米軍の思いやり予算に使われていることを知りショックでした。短い時間で、沖縄の現状を知ることができました。これから周りの人に伝えていきたいと思います。
(鳳クリニック 事務 富永 美里)

こんにちは! 同仁会 事業所だより

耳原高石診療所 デイケアセンター



体操の様子

ゆったりリハビリ始めませんか

6月より耳原高石診療所デイサービスセンターがデイケアセンターに生まれかわりました。「デイケアとデイサービス、どう違うの?」と思われる方もいらっしゃるかも知れませんが簡単に説明をします。

●「デイサービス」は「通所介護」の事で、生活のケアが中心になります。食事や入浴、レクリエーションなどのサービスを受けることができます。

●「デイケア」は「通所リハビリテーション」でリハビリが中心になります。理学療法士などのリハビリテーションを受け、日常生活をできるだけ自分でできるように訓練をします。

高石のデイケア定員は23人の通常規模で、会話をしながらの、触れ合う、個別リハビリを大事にしています。おやつレクリエーションでお散歩



お散歩